



2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年8月2日

上場会社名 オイレス工業株式会社
 コード番号 6282 URL <http://www.oiles.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯田 昌弥

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 企画管理本部長 (氏名) 宮崎 聡

TEL 0466-44-4901

四半期報告書提出予定日 2018年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	14,854	5.7	1,386	42.8	1,418	31.0	913	38.3
2018年3月期第1四半期	14,046	2.7	970	17.6	1,082	6.5	660	0.6

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 305百万円 (54.7%) 2018年3月期第1四半期 674百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	29.22	
2018年3月期第1四半期	21.04	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	71,435	58,415	80.4	1,834.55
2018年3月期	73,295	58,839	78.9	1,851.17

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 57,419百万円 2018年3月期 57,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		25.00		25.00	50.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		25.00		25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,300	6.8	2,500	28.3	2,600	18.9	1,700	18.6	54.36
通期	61,500	4.1	5,200	7.6	5,400	2.3	3,550	0.9	113.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期1Q	34,300,505 株	2018年3月期	34,300,505 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2019年3月期1Q	3,001,566 株	2018年3月期	3,059,497 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期1Q	31,257,266 株	2018年3月期1Q	31,376,291 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	9
(1) 受注及び販売の状況	9
(2) 地域ごとの売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国、欧州ともに個人消費などに支えられ回復傾向が継続し、中国をはじめアジア地域においても景気は底堅く、総じて堅調に推移いたしました。また、我が国経済も世界経済の成長と内需に支えられて緩やかな拡大基調にありました。

このような環境にあつて当企業グループは、お客様のニーズに迅速かつ的確に対応することにより日系メーカーからの受注獲得に努めるとともに、欧米、中国、インド、アセアンでは非日系メーカーに重点をおいたグローバル展開を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は148億54百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益は13億86百万円(前年同期比42.8%増)、経常利益は14億18百万円(前年同期比31.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億13百万円(前年同期比38.3%増)となりました。

①軸受機器

一般産業機械向け製品は前年に引き続き射出成形機や産業車両向け製品の受注が好調なことなどにより売上は増加いたしました。自動車向け製品は欧州、中国を中心に取引が堅調に推移し、軸受機器全体でも売上、利益ともに前年同期を上回りました。

この結果、軸受機器の売上高は115億15百万円(前年同期比5.4%増)、セグメント利益は14億20百万円(前年同期比31.3%増)となりました。

②構造機器

橋梁向け製品、建物向け製品ともに前年の受注を上回り売上は増加し、わずかではありますが利益を確保することが出来ました。

この結果、構造機器の売上高は17億27百万円(前年同期比11.9%増)、セグメント利益は44百万円(前年同期はセグメント損失76百万円)となりました。

③建築機器

住宅向け製品は受注が増加いたしました。主力製品であるウィンドウ オペレーターにつきましては、新規物件の受注が減少したことにより、建築機器全体で売上は、前年同期より減少いたしました。

この結果、建築機器の売上高は12億31百万円(前年同期比5.3%減)、セグメント損失は67百万円(前年同期はセグメント損失29百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比べ、総資産は18億59百万円減少し、純資産が4億24百万円減少した結果、自己資本比率は前連結会計年度末より1.5ポイント増加し、80.4%となりました。

資産の増減の主なものは、流動資産では受取手形及び売掛金の7億19百万円の減少、仕掛品の2億8百万円の増加、固定資産では有形固定資産の3億95百万円の減少、投資その他の資産の7億86百万円の減少であります。

負債の増減の主なものは、流動負債では未払法人税等の3億51百万円の減少、賞与引当金の6億17百万円の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

軸受機器事業は、海外での成長をより確実なものとするためのここ数年の取組みが奏功しており、グローバルな事業展開をさらに加速させることで、販売拡大に努めてまいります。

構造機器事業は、当社の強みを発揮できる市場の形成に注力することで競争力の確保を図るとともに、コスト低減による、一層の収益改善に取り組んでまいります。

建築機器事業は、ウィンドウ オペレーターのメンテナンスおよびリニューアル物件の獲得と、省エネに有効な外付けブラインドの認知度を向上させるための販売促進活動を強化し、売上拡大に努めてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,409	15,338
受取手形及び売掛金	18,572	17,852
有価証券	1,499	1,499
商品及び製品	3,426	3,611
仕掛品	2,510	2,718
原材料及び貯蔵品	2,407	2,358
その他	974	775
貸倒引当金	△51	△50
流動資産合計	44,748	44,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,901	6,702
機械及び装置(純額)	4,748	4,590
土地	2,921	2,911
その他(純額)	3,517	3,488
有形固定資産合計	18,088	17,693
無形固定資産	683	651
投資その他の資産		
投資有価証券	6,749	6,606
退職給付に係る資産	127	127
その他	2,913	2,268
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	9,774	8,987
固定資産合計	28,547	27,332
資産合計	73,295	71,435

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,466	6,401
未払法人税等	810	458
賞与引当金	1,089	472
役員賞与引当金	103	24
株主優待引当金	45	44
その他	3,626	4,103
流動負債合計	12,142	11,505
固定負債		
役員退職慰労引当金	56	46
退職給付に係る負債	607	580
その他	1,649	888
固定負債合計	2,313	1,515
負債合計	14,455	13,020
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,585	8,585
資本剰余金	9,615	9,615
利益剰余金	41,726	41,857
自己株式	△5,449	△5,364
株主資本合計	54,478	54,694
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,175	2,071
為替換算調整勘定	1,460	908
退職給付に係る調整累計額	△281	△255
その他の包括利益累計額合計	3,353	2,725
非支配株主持分	1,007	995
純資産合計	58,839	58,415
負債純資産合計	73,295	71,435

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	14,046	14,854
売上原価	9,130	9,520
売上総利益	4,916	5,333
販売費及び一般管理費	3,945	3,947
営業利益	970	1,386
営業外収益		
受取利息	21	24
受取配当金	44	48
為替差益	54	—
その他	62	39
営業外収益合計	182	112
営業外費用		
支払利息	5	4
為替差損	—	40
デリバティブ評価損	57	27
その他	7	7
営業外費用合計	70	80
経常利益	1,082	1,418
特別利益		
投資有価証券売却益	0	0
負ののれん発生益	0	—
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産処分損	2	4
減損損失	24	9
投資有価証券売却損	1	—
特別損失合計	28	13
税金等調整前四半期純利益	1,055	1,404
法人税等	360	456
四半期純利益	695	948
非支配株主に帰属する四半期純利益	34	35
親会社株主に帰属する四半期純利益	660	913

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	695	948
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	280	△103
為替換算調整勘定	△343	△565
退職給付に係る調整額	42	26
その他の包括利益合計	△20	△642
四半期包括利益	674	305
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	639	284
非支配株主に係る四半期包括利益	34	20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	軸受機器	構造機器	建築機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,924	1,543	1,300	13,767	278	14,046	-	14,046
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	-	0	1	1	3	△3	-
計	10,924	1,543	1,301	13,769	280	14,049	△3	14,046
セグメント利益又は損 失(△)	1,082	△76	△29	976	△6	969	1	970

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、伝導機器事業等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

構造機器事業セグメントにおいて、構造機器製造設備について減損損失を特別損失に計上しております。なお、減損損失の計上額は当第1四半期連結累計期間においては24百万円です。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	軸受機器	構造機器	建築機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,515	1,727	1,231	14,474	379	14,854	-	14,854
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	-	0	1	12	13	△13	-
計	11,515	1,727	1,231	14,475	392	14,867	△13	14,854
セグメント利益又は損 失(△)	1,420	44	△67	1,397	6	1,404	△17	1,386

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、伝導機器事業等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

構造機器事業セグメントにおいて、構造機器製造設備について減損損失を特別損失に計上しております。なお、減損損失の計上額は当第1四半期連結累計期間においては9百万円です。

3. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

	期首受注残高		受注高		売上高		期末受注残高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
軸受機器	3,134	27.5	12,761	72.1	11,515	77.5	4,381	30.7
構造機器	7,124	62.5	3,208	18.1	1,727	11.6	8,605	60.4
建築機器	759	6.7	1,370	7.7	1,231	8.3	898	6.3
報告セグメント計	11,018	96.7	17,340	97.9	14,474	97.4	13,884	97.4
その他	371	3.3	375	2.1	379	2.6	367	2.6
合計	11,390	100.0	17,715	100.0	14,854	100.0	14,251	100.0

前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年6月30日)

	期首受注残高		受注高		売上高		期末受注残高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
軸受機器	3,112	31.9	11,118	79.5	10,924	77.8	3,306	34.1
構造機器	5,741	58.8	1,152	8.2	1,543	11.0	5,351	55.2
建築機器	714	7.3	1,334	9.5	1,300	9.3	748	7.7
報告セグメント計	9,568	98.0	13,605	97.3	13,767	98.0	9,406	97.0
その他	195	2.0	374	2.7	278	2.0	291	3.0
合計	9,764	100.0	13,979	100.0	14,046	100.0	9,697	100.0

前連結会計年度(自2017年4月1日 至2018年3月31日)

	期首受注残高		受注高		売上高		期末受注残高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
軸受機器	3,112	31.9	44,978	74.1	44,956	76.1	3,134	27.5
構造機器	5,741	58.8	8,263	13.6	6,880	11.7	7,124	62.5
建築機器	714	7.3	5,939	9.8	5,894	10.0	759	6.7
報告セグメント計	9,568	98.0	59,181	97.5	57,731	97.8	11,018	96.7
その他	195	2.0	1,494	2.5	1,318	2.2	371	3.3
合計	9,764	100.0	60,676	100.0	59,050	100.0	11,390	100.0

(2) 地域ごとの売上高

前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年6月30日)

(単位:百万円)

日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
8,635	1,341	778	2,918	372	14,046

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
2. アジアのうち、中国向け売上高は1,652百万円です。

当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

(単位:百万円)

日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
9,174	1,194	861	3,247	377	14,854

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
2. アジアのうち、中国向け売上高は1,835百万円です。